

Vol.3 No.20 2008年3月

石綿の分析項目に3物質追加 厚生労働省・文部科学省が通達

建材等に使用された石綿の調査対象が拡大され、これまでの3種類から**6種類**すべてを調べるよう、平成20年2月に厚生労働省及び文部科学省から通達が出されました。

6種類の石綿は、2006年にすべての製造、使用が禁止されています。しかし、国内で使われていないとされていたトレモライトなど3種類の石綿が、東京の保育園など8箇所の公共施設で検出されていることがわかりました。

発がん性が指摘される6種類の石綿のうち、3種類の石綿が無警戒のまま放置されている恐れがあり、今後、再調査が迫られます。

新たな調査分析対象の石綿

石綿の種類には次の6種類があります。

クリソタイル	従来の調査対象
クロシドライト	
アモサイト	
トレモライト	追加調査対象
アンソフィライト	
アクチノライト	

上記のいずれかをその重量の0.1%を超えて含有するものを石綿といい、これまでは、クリソタイルおよびクロシドライト、アモサイトの3種類が分析調査の対象でしたが、新たに**トレモライト**および**アンソフィライト**、**アクチノライト**が追加され、**全6種類が分析の対象**になります。

石綿ばく露防止対策等の観点から、分析調査の徹底が求められています。過去に行った分析調査においてクリソタイル等3種類の石綿のみを対象としている場合で、0.1%を超えて含有しないと判断されたものについても、新たに追加されたトレモライト等3種類を対象にした分析調査が必要です。

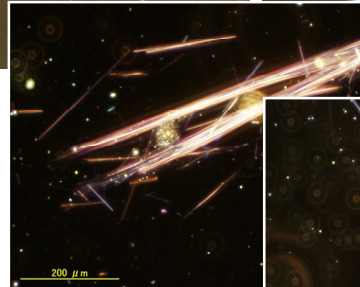
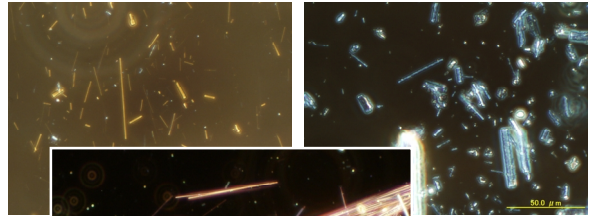
<分析調査方法概要>

建築物に用いる吹き付け建材中のトレモライト等、追加された3種類の石綿含有率の分析には、分散染色法による顕微鏡観察とX線回折法が併用されます。

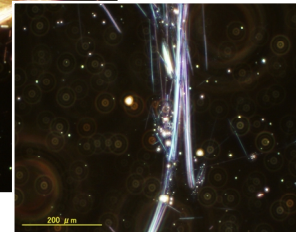
—— 顕微鏡写真例 ——

トレモライト

アンソフィライト



アモサイト



クロシドライト

弊社では、6種類すべて、あるいは3種類の石綿分析のご依頼、また、「アスベスト診断士」による建築物の石綿含有吹き付け建材の調査や、それに伴う石綿建材の除去作業など、一貫した業務を行っております。お気軽にお問い合わせください。

(担当) 大気環境部 秋場・鷹觜

～編集後記～

スギ花粉の季節がやってきました。ある日突然、花粉症にかかるという方が多いと聞きます。花粉症と寄生虫感染には負の相関があるといわれています。花粉症の原因に免疫グロブリンE (IgE) という体内の免疫物質が深く関与します。このIgEはもともと、人間体内の寄生虫を追い出す為に活躍していたものです。この関係は未だ詳しく研究がされていませんが、衛生環境の向上が新たな病気『花粉症』を引き起こしたのかも…。現在、環境省では、花粉観測システム(はなこさん)をインターネット上に公開し、2月1日より花粉情報をリアルタイムで配信しています。是非参考に!!

業務内容

調査・分析・測定部門 (水質・大気・土壌・食品・特殊分析・環境アセスメント) プラント・工事・メンテナンス部門 (排水・用水処理の設計及び施行・各種メテ水処理薬品部門 (ホーイラー・空調用水処理薬品・化学洗浄関連薬品他) 環境保全機器部門 (滅菌剤・ろ過装置・各種測定計測器 他)

